MANUFACTURE OF COMPOSITE BOARD

Patent Number:

JP61092814

Publication date:

1986-05-10

Inventor(s):

NAKAYAMA SHOICHI; others: 02

Applicant(s):

SUMITOMO BAKELITE CO LTD

Requested Patent:

☐ JP61092814

Application Number: JP19840214238 19841015

Priority Number(s):

IPC Classification:

B29C39/10; B29C39/32; B29C39/40

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PURPOSE: To manufacture the composite board, excellent in thickness accuracy and having no sinkmark, by a method wherein a metallic sheet is set between upper and lower molds having sheet-like rubber spacers and metallic piece spacers provided with predetermined thicknesses and liquid resin is poured into the molds to solidify it.

CONSTITUTION: The metallic sheet 5 is set into the metallic mold consisting of the upper and lower molds 1, 2 provided with a resin reservoir 7 as well as the sheet-like rubber spacer 4 of predetermined thickness and the metallic pieces spacers 3 of predetermined thickness and the liquid resin is poured into the mold, thereafter, the resin is cured. The excessive resin flows into the resin reservoir and the volumetric contraction of the resin upon curing is absorbed by the rubber spacer, therefore, a product, high in the thickness accuracy thereof and having no sinkmark, may be manufactured. This method is suitable for manufacturing the board for rigid magnetic disk.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

⑩日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭61-92814

@int_Ci_4

識別記号

庁内整理番号

砂公開 昭和61年(1986)5月10日

B 29 C 39/10

39/32 39/40 7722-4F 7722-4F

∥B 29 L 31:00 4F

審査請求 発明の数 1 (全3頁) 未請求

49発明の名称 複合基板の製法

> ②特 昭59-214238

29出 昭59(1984)10月15日

⑫発 眀 者 中

正

東京都千代田区内寺町1丁目2番2号 住友ベークライト

株式会社内

四発 眀 者 乾 恵 太 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号 住友ベークライト

株式会社内

70発 明 者 節 夫 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号 住友ベークライト

株式会社内

①出 願 住友ベークライト株式

Ш

木

東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

会社

明

1. 発明の名称

複合拡板の製法

2. 作許 肪 水 の 範 囲

上型と下型とその間にはさまれたスペーサー とからなり、かつスペーサーが所定写みのデート 状ゴムスペーサーと、所定厚みの金属片スペ ーとからなる成形型内に金属板等の板状物を トし、波状樹脂を注入することを特徴とする複合 恭板の製造方法。

3. 発明の詳細な説明

〔庶盛上の利用分野〕

本発明は、厚み精度が良く、ヒケのない複合 **裁板を製造する方法に関するものである。**

〔従来技術〕

本発明における複合恭板は、主としてコンピ ュータパックアップメモリー用として、近年注目 されているリジッド磁気ディスク用荷板として使 用されるものである。リジッド磁気ディスクはリ

ジッド磁気ディスク用茶板(鏡面板、一般にはAL 板)に磁性膜を形成して製造されるが、高容景化 の為にディスク表面と硫気ヘッドとの間隔を小さ、 くする方向にあり、1~2 Am 程度の間際になろう としている。このために茘板に要求される特性と して表面狙さ等とともに板厚について非常に厳し い精度が要求されている。現在使用されているAL 板には、厚み、衷面粗さ等の性能を瀕足するため 研磨等の工程に多大なコスト(時間と労力)を発 しているのが現实である。

(発明の目的)

本発明者らは、との様な状況に考慮し、原み 表面祖さ等の特性がすぐれたブラスチックー金属 による複合基板を低コストで得んとして研究した 結果、鏡面性の上下平面型板とその間のスペーサ ーを用いることにより、板厚精度の優れた複合恭 板を得るとの知見を得、更にとの知見に恭づき彼 々研究を進めて本発明を完成するに至ったもので ある。

[発明の構成]

本発明は、上型と下型とその間にはさまれたスペーサーとからなり、かつスペーサーが所定厚みの金属ト サート 大ゴムスペーサーと、所定厚みの金属 特 の は で な 大樹脂を 注入することを 特 徹 と する 被 合 基 板 の 製造 方 法 に 関 明 する。 第 1 図 、 第 2 図 は 本 発 明 の 実 施 例 を 示 す 図 で ある。

第1図は本発明に用いる成形装置の横断図面で上型(1)、下型(2)、その間にはさまれた金属片スペーサー(3)及びゴムスペーサー(4)より構成される成形型である。なお、ゴムスペーサー(4)には通常余分の樹脂をためる樹脂だまり(7)が設けられる。

上記の成形型を用いて成形する場合は、下型(2)の上に金属片スペーサー(8)及びゴムスペーサー(4)を夫々第1図、第2図の様にセットした後、金属板(6)を第2図の様にセットし、樹脂を流し込み、上型(1)を閉じる。成形型を上下方向から型締めをおこなりと、ゴムスペーサー(4)は圧縮され、上、下型に密療するが、金属片スペーサー(8)の厚み位

受の 金属板とゴムスペーサーとの間酸及びゴムスペーサーが樹脂の 収縮 に対して追従するのでヒケの発生がおきない。

[実施例] 。

金属板として外径 130 mm、内径 40 mm、 厚み 1.7 mm の Mt 板を、 樹脂として 2 液性のエポキシ樹脂を用いて厚み 1.9 mm、外径 130 mm、内径 40 mmの 做服が厚み複合装板を成形した。

まず、下型、金属片スペーサー、ゴムスペーサー、人と板を飾1図、第2図の様にセットし、エポキシ関脈主剤と硬化剤とを充分に混合し、これを上記成形型に流し込み、上型を閉じた後100 8/cml の圧力にて倒断の硬化に必要な時間加無加圧してひ合物板を得た。なお、この場合が大ったののであり、金属片スペーサーはシリコンゴムから金属片スペーサーのの呼がは1.9 ± 0.05 mm のとかのないな合語板を得た。注到、0.05 mmのとかのないな合語板を得た。注到、でもの関節のもれは全くなかった。

4. 図面の簡単な説明

便で認締め力が停止され、それ以上はゴムスペーサー(4)は圧縮されず、上下型と金属片スペーサーにより均一に徴脈層が形成され、余分な樹脂は樹脂だまり(7)に流れる。

[発明の効果]

本器明は次の様な特及を有している。

① 得られる複合券板の厚み精度が非常に優れている。

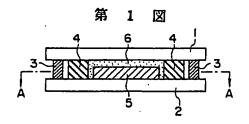
②ゴムスペーサーは型締め力により上型、下型と密着するので液状樹脂のモレは発生しない。

③放状樹脂は硬化により体积収縮をおこすが、

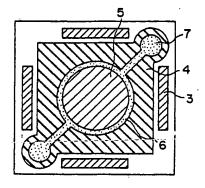
第1図は本発明における成形工程を示す縦断面図で、第2図は第1図のA-A断面図である。

- 1 ……… 上型
- 2 ……… 下题
- 3 ……… 金属片スペーサー
- 4 ゴムスペーサー
- 5 ……… 金属板等
- 6 …… 樹脂層
- 7 ……… 樹脂だまり

特許出願人 住友ペークライト株式会社



第 2 図



- 1 上型 2 下型 3 全集片スペーサー
- 5 金属板 6 積照局 7 核脂形的